

**リコーグループ  
喫煙対策について**

**ランチオンセミナー**

**RICOH**  
imagine. change.

**<配布版>**

**2015年5月15日  
株式会社リコー 日本統括本部  
総務統括センター H&S統括部  
喫煙対策推進PG**

# 目次

1. 株式会社 リコー会社紹介（省略）
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2－1. 外部、内部環境動向
  - 2－2. 構築概念図
  - 2－3. 喫煙対策PG活動
  - 2－4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4－1. 現在の喫煙率
  - 4－2. 今後の課題について

1. 株式会社 リコー会社紹介
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. 構築概念図
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について

## ◇世界における日本の喫煙対策の状況

WHO:「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」による

FCTC: Framework Convention on Tobacco Control

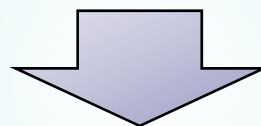
全世界での喫煙対策の展開: 批准国:174カ国(日本2004年批准)

世界に比べて喫煙対策の大幅な遅れ

日本の喫煙率(2010年:19.5%) 29位/先進国34カ国

出典:厚生労働省H24年度 労働者健康状況調査

東京五輪開催による受動喫煙対策の促進化



新成長戦略 がん対策基本計画(閣議決定)

【2020年目標】 ①受動喫煙の無い職場の実現

②喫煙率:19.5%⇒12%(2010年4割減)

により喫煙対策は加速する

# 活動以前の喫煙対策活動状況

● リコー事業所    ■ 関連会社

■ O事業所  
目的・狙い: 受動喫煙防止  
実施策: 来客以外屋外化  
喫煙所段階的縮小

■ Y事業所  
目的・狙い: 健康増進  
実施策: 建屋内禁煙  
セミナー開催

● A事業所  
目的・狙い: 受動喫煙防止  
実施策: 建屋内禁煙  
セミナー開催  
スワンスワンデー設定

■ T事業所  
目的・狙い: 受動喫煙防止  
実施策: セミナー開催  
喫煙所縮小化

● H事業所  
目的・狙い: 防災対策  
実施策: セミナー開催  
喫煙所縮小化

● S事業所  
目的・狙い: 受動喫煙防止  
実施策: セミナー開催  
喫煙所縮小化

● N事業所  
目的・狙い: 受動喫煙・業務効率  
実施策: セミナー開催  
喫煙所段階的縮小化

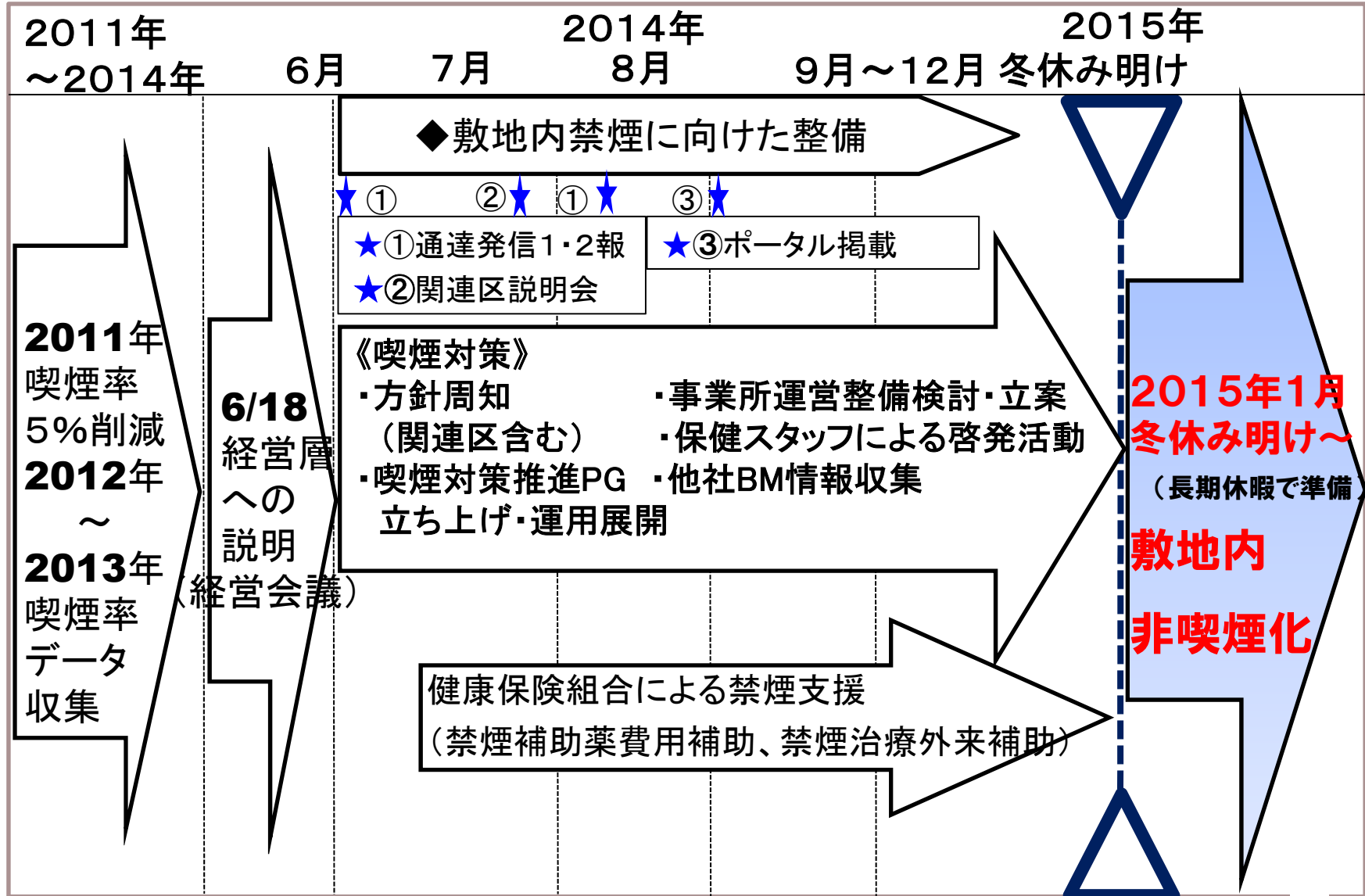
各事業所・各社毎に独自の活動を展開している

グループ共通の喫煙対策方針が求められている



# リコーグループ非喫煙化スケジュール

2015年度社内非喫煙化に向けた施策



1. 株式会社 リコー会社紹介
2. **リコーグループの敷地内全面禁煙への道**
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. **構築概念図**
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について

## リコーグループ喫煙対策方針の具現化

健康施策：受動喫煙防止・健康増進

総務

安全衛生推進

産業保健

リコーグループ喫煙対策推進P G

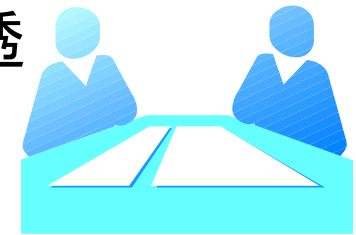
経営層

1. 株式会社 リコー会社紹介
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. 構築概念図
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について

# ■ リコーグループ喫煙対策構築課題

## 喫煙対策構築スタート時の課題

- ◇方針展開に向けた細かな運用ルール・禁煙支援策が必要
- ②－1 抜け漏れの無い全体整備
- ②－2 グループ各社・事業部門トップへの理解・浸透
- ②－3 産業保健スタッフ・健保支援策が必要
- ②－4 他社情報収集



## 課題②対応策

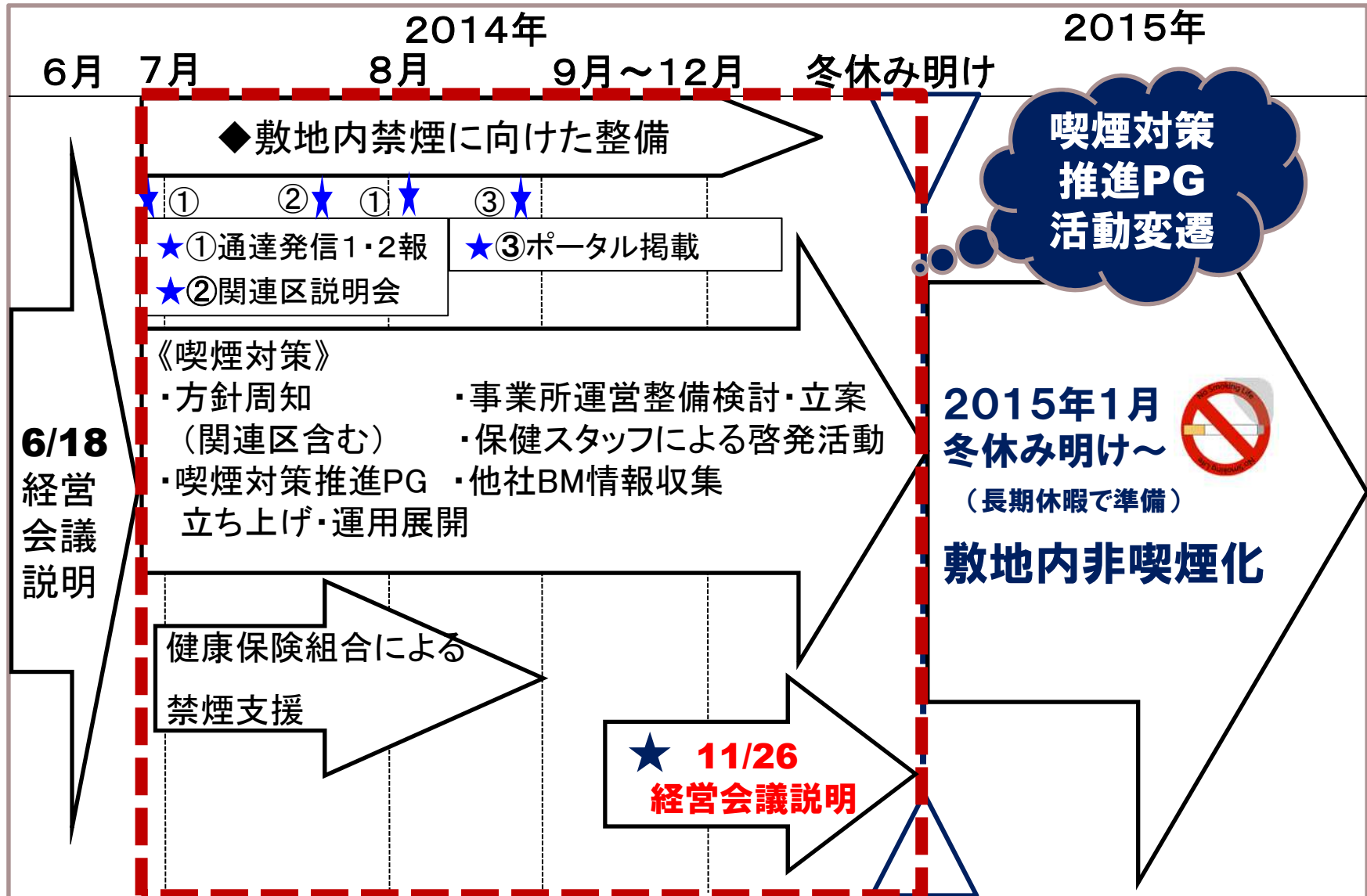
- ②－1 全体整備構築計画策定⇒1回/2Wでの経営層進捗報告
- ②－2 各社・事業部門トップへの聞き取り/説明実施
- ②－3 産業保健スタッフ・健保支援策の策定
- ②－4 先行整備企業ベンチマーク活動

全体：関連区を巻き込んだ構築PGの立ち上げ・実践展開



# リコーグループ非喫煙化スケジュール

2015年度社内非喫煙化に向けた施策



## 【目的・狙い】

「リコーグループ喫煙対策方針」明示に伴う、敷地内非喫煙化の円滑なスタートを目指し、関連区を交え予想される整備案件・課題の潰しこみを行い、リコーグループ各社共通の対応を行う。

PG=Project Group

## 目指す姿

- ◇PG機能：事業所運営・禁煙サポート・健康啓発
- ◇参画組織：事業所総務統括・グループ会社（代表）  
リコー三愛健保組合・H&S統括部
- ◇PG活動期間：2014年7月～2015年1月
- ◇開催頻度：月次開催（案件に応じて、不定期開催）  
※以下、体制図を次Pに表す



## ◇喫煙対策推進PGによる活動展開・実施事項

- 1、グループ各社・事業部門トップへの説明
- 2、役員メッセージ発信
- 3、先行他社情報収集
- 4、共有ツール作成（対外部向け依頼文書）
- 5、方針展開に向けた細かな運用ルールガイド策定
  - 課題⇒共有ルール定義明確化  
（マナー/近隣対応/喫煙スペース活用/工事業者対応）



**PG活動による、機能横断型の施策案件検討・情報共有**

# 1、グループ各社・事業部門トップへの説明 **RICOH** imagine. change.

---

説明結果より⇒本施策への理解を頂く。  
課題：受動喫煙への理解度が低い

## ■ 2、役員メッセージ発信

◇社内ポータルを利用した役員メッセージを掲載

経営層の決意表明⇒社員への更なる周知・理解度浸透



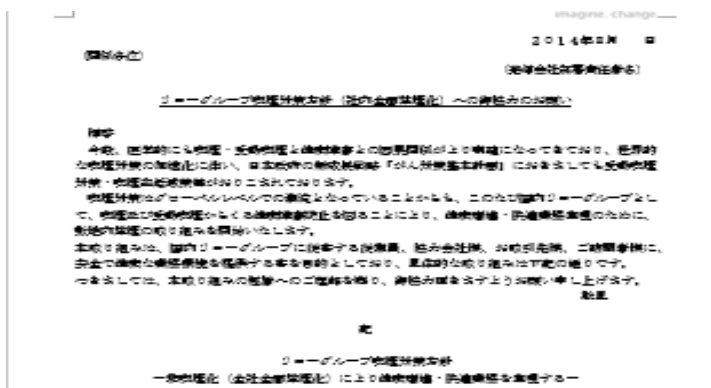
### 3、先行他社情報収集

活動定着のキーワード⇒地道にコツコツ・ぶれない信念  
やりきる姿勢、全員参画

# 4、共有ツールの策定・社員への周知

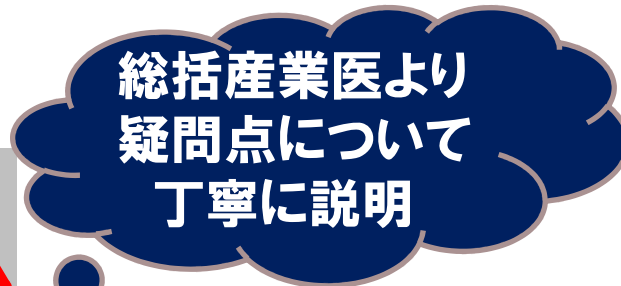
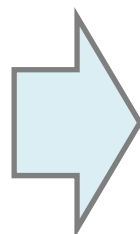
## ◇リコーグループ共有ツールの作成

【対外部（派遣・業務委託先）への協力依頼文書作成・配布】



## ◇産業保健スタッフ：総括産業医による説明

- Q：禁煙補助薬の副作用？
- Q：何故、敷地内禁煙が  
必要なのか？
- Q：三次喫煙とは？



# 4、共有ツール・運用ガイド策定

## ◇運用ルールを明確にしたガイド策定・発行

- ①マナー全般②近隣対応③喫煙スペース④工事業者対応

※予測される事象に対する共通の考えたかの明確化

リコーグループ各社および事業所における禁煙に関するガイドライン(14.12.15) 改訂:14.12.25

### 1. マナー関連

課題

基本的な

1-1. 隠れタバコ対策

1-2. 違反者対応(罰則規定)

- ①休憩時間の扱いは？
- ②隠れタバコ対策は？
- ③違反者への対応は？
- ④喫煙スペース活用は？

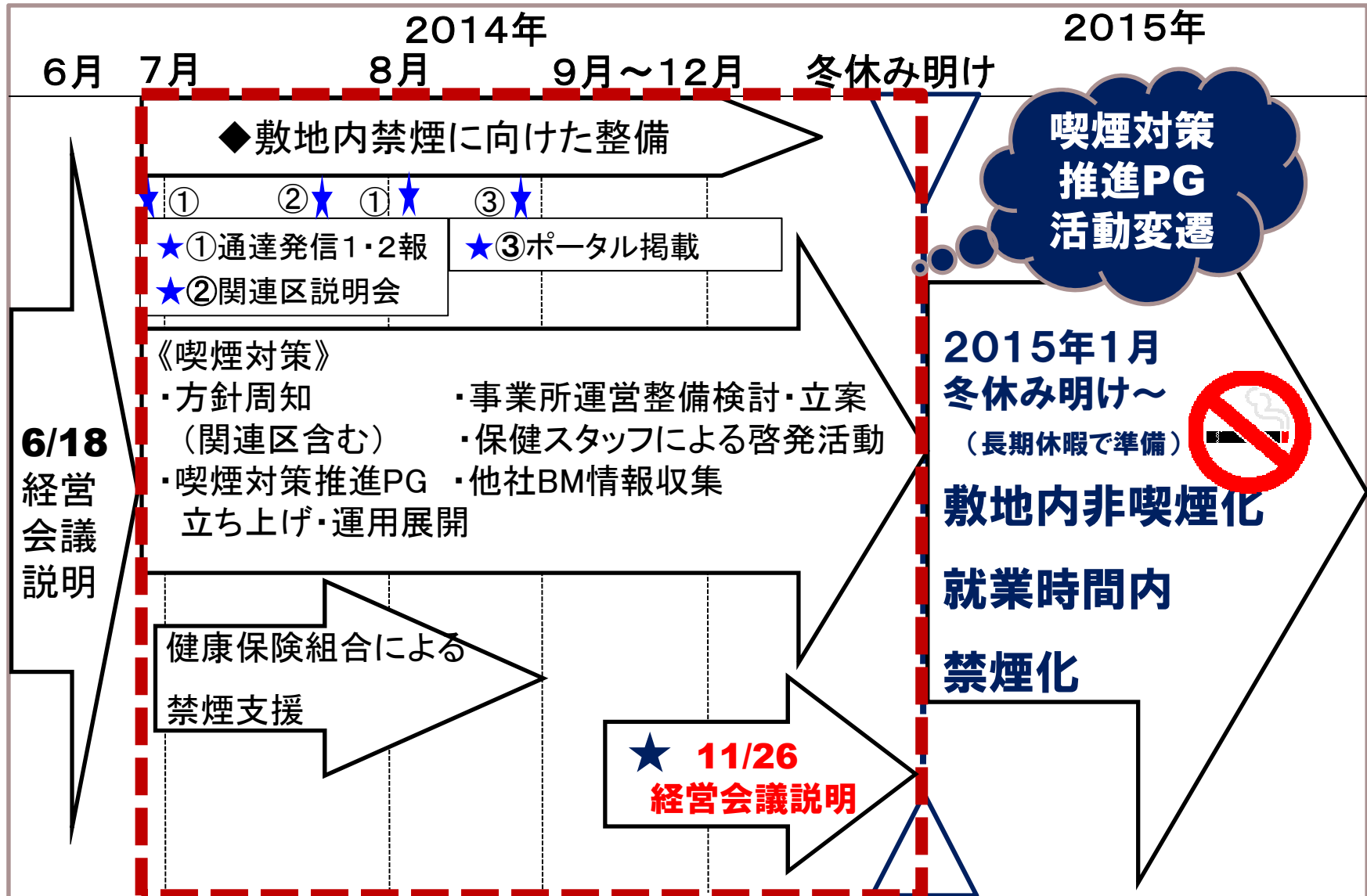


グループ共通ルールの明確化



# リコーグループ非喫煙化スケジュール

2015年度社内非喫煙化に向けた施策



1. 株式会社 リコー会社紹介
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. 構築概念図
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について

## 1. H&S統括部(産業保健スタッフ)としての支援

- ①産業保健スタッフによる支援(面談、セミナー)
- ②総務との連携による情報発信  
(ポスター・パンフレット、デジタルサイネージ)
- ③安全衛生委員会での周知

## 2. 健保としての支援(後ほど紹介)

### 禁煙チャレンジプログラムの実施

- 禁煙外来治療費補助
- 禁煙補助薬購入費補助



## ①産業保健スタッフによる支援

### 記録

- 健診事後のフォロー面談時に、「喫煙に関する質問票」を記録用紙として追加

### 面談

- 状況により、臨機応変に実施
- 禁煙に対して意欲のある社員からフォローしていく

## 共通したフォーム；「喫煙に関する質問票」

The diagram illustrates the process of standardizing survey forms. At the top, two examples of fragmented forms are shown. The left form, titled '喫煙に関する質問票' (Smoking Survey), includes fields for '社員番号' (Employee ID) and '氏名' (Name), and a question: '01. 現在、たばこを吸っていますか？' (Do you currently smoke?). The right form, titled '喫煙に関する質問表の結果' (Result of Smoking Survey), shows a scale: '5点以上:ニコチン依存症' (5 or more points: Nicotine dependence) and '5点未満:依存症ではない' (Less than 5 points: Not dependent). A large red callout box in the center contains the following text: '各事業所ごとに、記録フォーマットや記録方法などばらつきあり' (Each business site has different record formats and methods), followed by a downward arrow, '統一フォーマットを使用し、質問内容のばらつきをなくす' (Use a unified format to eliminate differences in question content), and another downward arrow, '共通した支援提供' (Provide common support). Below this callout, two more examples of forms are shown. The bottom-left form, titled '09. 今までのたばこをやめたことがありますか？' (Have you ever quit smoking before?), includes a question about confidence in quitting: '010. たばこをやめることについての程度自信をもっていませんか？' (Do you have confidence in your ability to quit?). The bottom-right form shows fields for '署名' (Signature) and '日付' (Date), and a statement: '担当者である私は、禁煙が成功できるよう適切な支援することを約束します。' (I, the person in charge, promise to provide appropriate support so that you can succeed in quitting).

(厚生労働省「禁煙支援マニュアル第2版」より)

(オリジナル)

## 初回

問診、状況確認、外来受診または薬物使用の勧奨、同部署同僚への情報開示の同意の有無



## 2回目

約1ヵ月後に面談実施(状況確認)を行う。禁煙希望の社員に対して、具体的に、いつ・どのような方法で・どんな思いで禁煙を行うかなど、具体的目標を設定。情報開示に同意した社員は、同部署で人数を集めて、同席した状態で2回目の面談を行うことも可能とする



## 3回目

外来治療を行う人に関しては、継続してフォローを実施(受診確認・次回受診日を確認)  
その他、進捗の確認や悩みの相談等に対応

## ■【対象者について】

禁煙希望者(健保補助 申込者)

～ポイント～  
優先順位づけ  
&  
STEP展開

ヘルスサポートセンターへ来室し、  
禁煙を希望する者

生活習慣(ライフスタイル)チェックの問診  
にて、禁煙に対し「実行期・準備期・関心  
期」である者

健診事後フォローで、面談をした際、  
「喫煙している」という社員全員

## ■ ~ポイント~

- 禁煙を希望しない社員(無関心期にある社員)については、無理やり呼び出して面談を行うことはしない
- フォローをしても、禁煙できていない人については、ある一定のところまでフォローを実施し、終了
- 無関心期にある社員に対しても、健保補助支援の案内など、メール・電子掲示板などを利用して、情報提供を行う
- 喫煙に関する質問票は、個人ファイルに管理するのではなく、別管理とし、すぐに集計等しやすくしておく



~ポイント~  
**優先順位づけ  
&  
STEP展開**

## ②総務との連携による情報発信

### 【ポスター・パンフレット設置】

(リコー東品川事業所 喫煙室)  
※現在は空部屋



☆産業保健スタッフだけではなく、**各事業所総務と連携**し、ポスターやパンフレットを設置したり、定例ミーティングを実施し、情報共有を行っている

☆喫煙室だけではなく、食堂スペースやヘルスサポートセンターなどにも、同ポスターやパンフレットを設置

ソリューション

商品

サポート・ダウンロード

イベント・セミナー

リコーについて

[ホーム](#) > [商品](#) > [デジタルサイネージ](#)

## 商品

- 複写機/複合機
- プリンター
- 複合機・プリンター拡張機能
- プロダクションプリンター
- デジタル印刷機
- ソフトウェア
- テレビ会議・Web会議システム
- プロジェクター
- インタラクティブ ホワイトボード(電子黒板)
- デジタルサイネージ
- ファクシミリ
- LED照明
- 業務用デジタルカメラ
- 3Dプリンター
- 産業向け製品

## サポート情報

- [メンテナンス・障害情報](#)

## デジタルサイネージ



月額  
**4,800円\***～  
\*ボリュームディスカウント  
もごさいます。

リコーデジタルサイネージ

## RICOH Digital Signage

ショップが変わる、オフィスを変える  
明日へのデジタルメッセージ。

近年、注目度がますます高まりつつある電子の広報システム＝デジタルサイネージ。  
この新しいメディアのステージリコーが提案するのは、コンパクトなSTBを中心にシステム化し、驚きのコストパフォーマンスを実現したワンストップソリューション。

 **Wireless** **Compact**  
33(W)×88(D)×16(H)mm



## ■ サイネージでの配信内容

### 【禁煙シリーズⅠ】

- 2014年10月～；喫煙者への禁煙よびかけ①
- 2014年11月～；喫煙者への禁煙よびかけ②

### 【禁煙シリーズⅡ】

- 2014年1月～；受動喫煙防止



**ターゲットを喫煙者にした、禁煙啓発、禁煙勧奨**



**ターゲットを喫煙者だけではなく  
非喫煙者も含めた、受動喫煙防止**

## ③安全衛生委員会での周知徹底

産業医ミーティングで、喫煙について、産業保健スタッフが、共通のテーマで共通の資料を使用し、12月まで安全衛生委員会で連続講話することが決定

2014年7月 ◎法的背景と禁煙支援

2014年8月 ◎喫煙者本人への健康障害

2014年9月 ◎受動喫煙による健康障害

2014年10月 ◎喫煙と精神疾患・症状との関連、喫煙と労働災害との関連

2014年11月



## 1. H&S統括部(産業保健スタッフ)としての支援

- ①産業保健スタッフによる支援(面談、セミナー)
- ②総務との連携による情報発信  
(ポスター・パンフレット、デジタルサイネージ)
- ③安全衛生委員会での周知

## 2. 健保としての支援

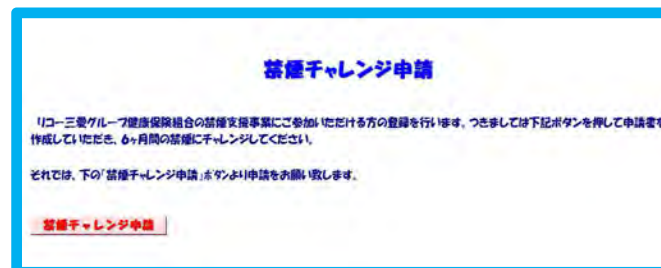
### 禁煙チャレンジプログラムの実施

- 禁煙外来治療費補助
- 禁煙補助薬購入費補助



# 2014年7月～2015年3月までの禁煙支援事業 **RICOH** imagine. change.

1. 対象者 被保険者
2. 実施方法 **禁煙補助薬(ニコチンパッチ)コース**又は  
**禁煙治療コース**を個人で選択
3. 募集期間 ①2014年7月24日～8月22日⇒延長9月2日  
②2015年1月5日～3月31日
4. 実施期間 禁煙治療コース、禁煙補助薬コース共に準備が  
整い次第実施
5. 応募方法 データベースまたはエクセルファイルでの申請
6. 個人負担額 禁煙補助薬コース、禁煙治療コース共に個人が支払った  
費用の1/2を負担
7. 周知方法 リコーより喫煙に関する方針をグループ内に周知後、  
禁煙プログラムについて健保より通達発信

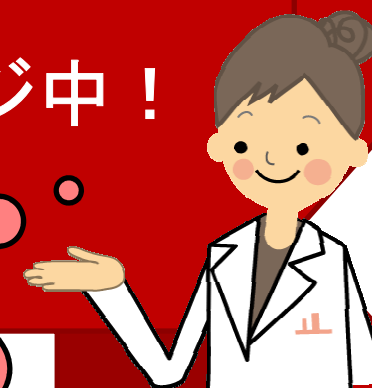


# 禁煙支援：健保申し込み状況

グループ全体の  
喫煙者数

現在、計731 / 10,708名  
参加率;7.04%が、禁煙チャレンジ中！  
※2015年4月20日時点

【リコーグループ全体】  
外来治療成功者98名  
補助薬使用成功者12名



1. 株式会社 リコー会社紹介
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. 構築概念図
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. **リコーグループ喫煙対策方針の明示**
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について



## リコーグループ喫煙対策方針 ～非喫煙化により健康増進・快適職場を実現します～

### <目的>

- I リコーグループで働く人たちの健康障害防止・健康増進
- II 社内における受動喫煙防止

### <背景・狙い>

今般、医学的にも喫煙・受動喫煙と健康障害との因果関係がより明確になってきており、世界的な喫煙対策の加速化に伴い、日本政府の新成長戦略「がん対策基本計画」(2011年閣議決定)においても受動喫煙対策・喫煙率低減策等がおりこまれています

また、『たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約(略称:WHO FCTC)』のガイドラインにおいて受動喫煙を防止するためには敷地内禁煙がもっとも有効であることが明らかになっています

今、喫煙対策はグローバルレベルでの潮流であり、グローバル企業をめざすリコーグループとして、リコーグループで働く人たちの能力を最大限に発揮いただくための環境整備の一環として、喫煙及び受動喫煙による健康障害防止を図るためにも、非喫煙化を推進していく必要があります

### <具体的な実施策と実施時期>

1. 「社内(敷地内を含む)及び就業時間内の全面禁煙化」 : 2015年1月～
2. 「喫煙者への禁煙支援」 : 2015年1月～(実施中)

1. 株式会社 リコー会社紹介
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. 構築概念図
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について

◇開発系部署：Before（喫煙対策前）

- ①人員数→33名
- ②喫煙者数：11名
- ③喫煙率：33%



After（喫煙対策後）

- ①人員数→33名
- ②喫煙者数：8名（3名禁煙に成功）  
※2名自力禁煙 1名禁煙外来
- ③喫煙率：24%（-9%）



敷地内禁煙施行（吸えない環境作り）により禁煙者が増加

1. 株式会社 リコー会社紹介
2. リコーグループの敷地内全面禁煙への道
  - 2-1. 外部、内部環境動向
  - 2-2. 構築概念図
  - 2-3. 喫煙対策PG活動
  - 2-4. 産業保健支援・啓発・健保補助について
  - 2-5. 喫煙：労災・メンタルとの相関について
3. リコーグループ喫煙対策方針の明示
4. 2015年1月、方針施行後の姿
  - 4-1. 現在の喫煙率
  - 4-2. 今後の課題について

## ■ 施行直後の課題と対策

- 代表電話やWEB書き込みへの苦情対応・・・広報室に集約し、対応方法を協議・対応
- 休憩時間における近隣での喫煙・・・拠点における対策(パトロール・ルール化・通達による徹底)
- 就業時間内に外出しての喫煙・・・告発についての現状確認と対策の検討と早期実施。

## ■ 世の中の反応

- ネットでは、オフィスでの喫煙を禁止しただけでなく、就業時間内であれば、外出先や出張先、移動中も対象に含んだ禁煙化について、賛否両論。
- 「うちの会社も導入してほしい」「むしろ分煙を推進すべき」「ここまで拘束するのはやりすぎだ」などと、さまざまな意見
- 「外出先でも禁煙」は、法的に問題ないのか? に対し、議論の過熱化の歯止めとなる見解が「弁護士ドットコム」で発信された。(1月26日)

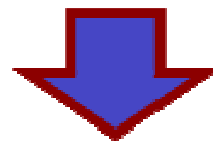
### 【喫煙対策方針展開後の課題】

- ◇トイレ等隠れタバコ・外出による近隣クレーム
- ※HPへの書き込み・社内ホットライン等

### 【対応策：既に実施対応含む】

- ①職制を通じ、ルール順守を徹底（各種会議体での啓発・通達配信等）
- ②巡視・巡回による啓発・抑止
- ③構内企業・協力会社の場合は、再度先方へ協力依頼  
※それでも、再発するならば“禁煙対策推進PG”にて対応協議
- ④保健指導への繋ぎ（産業保健スタッフ・健保支援）
- ⑤受動喫煙周知・啓発活動の継続  
（保健スタッフによる、各種会議体を通じての啓発・デジタルサイネージによる展開）

ひき続き、罰則措置などをせず、周知徹底と啓発でルールの遵守を呼びかけていく



### 【効果測定指標の確立】

喫煙率データ以外の代用特性データ(次頁)の推移・経年変化をみていく  
さらに、「健康経営」の一環として、本施策が寄与するかどうかについて、  
保健医療費の軽減効果を確認していく。

**RICOH**  
imagine. change.

**【健康管理】  
リコーグループ  
喫煙対策方針  
リリース後の  
状況報告に  
ついて**

**RICOH**  
imagine. change.

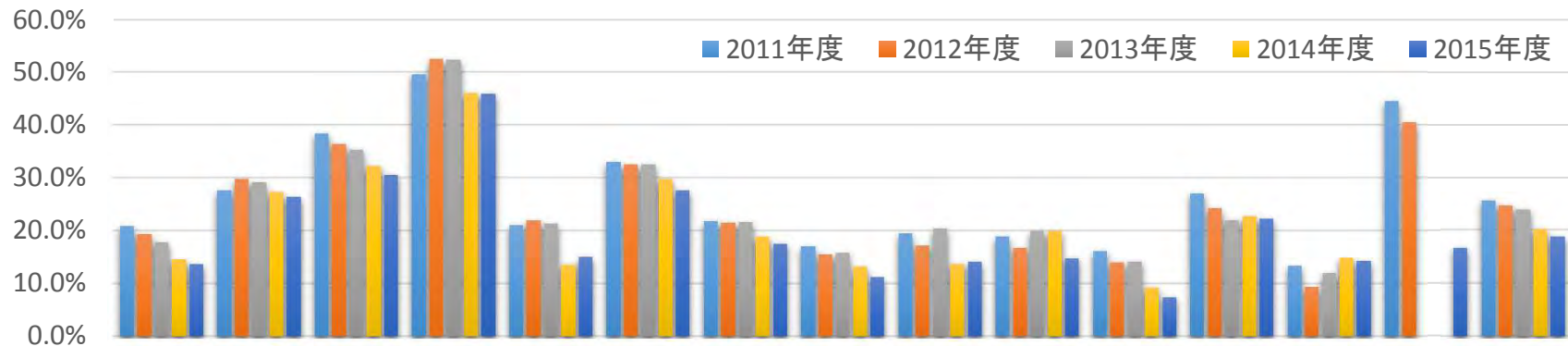
2015年9月2日  
株式会社リコー コーポレート統括本部  
ジャパンビジネスサポートセンター H&S統括部  
喫煙対策推進PG

# 喫煙対策後の喫煙率結果(リコーのみ)

## ◇(株)リコー喫煙率推移状況

2011～2015年度比較喫煙率  
(ウェルネスチェック・ライフスタイル結果より)

※未回答者は除く  
出向者は出向先に含む



年度	A事業所	B事業所	C事業所	D事業所	E事業所	F事業所	G事業所	H事業所	I事業所	J事業所	K事業所	L事業所	M事業所	N事業所	総計
2011年度	20.9%	27.7%	36.5%	49.7%	21.1%	33.0%	21.9%	17.1%	19.5%	18.9%	16.2%	27.1%	13.4%	44.0%	25.6%
2012年度	19.5%	29.8%	36.5%	52.5%	22.0%	32.6%	21.6%	15.6%	17.2%	16.8%	14.1%	24.3%	9.4%	40.6%	24.7%
Before 2013年度	17.9%	29.2%	35.4%	52.4%	21.4%	32.6%	21.7%	15.9%	20.5%	20.0%	14.3%	22.1%	12.0%		23.9%
2014年度	14.6%	27.4%	32.4%	45.0%	13.6%	29.6%	18.9%	13.2%	13.7%	20.0%	9.3%	22.8%	14.9%		20.2%
After 2015年度	13.7%	26.4%	30.6%	48.0%	15.1%	27.7%	17.6%	11.3%	14.1%	14.9%	7.5%	22.4%	14.3%	16.7%	18.8%
15年喫煙者数(名)	83	23	356	92	40	52	621	63	100	11	36	17	9	2	1505
対象者数(名)	604	87	1162	200	265	168	3525	560	707	74	483	76	63	12	8006

◇喫煙率推移、2013年度：23.9%⇒方針開示・展開後：18.8% **“5.1%ダウン”**  
※喫煙者の2割(400名)

お礼：短期間での整備にも関わらず御協力頂き、誠にありがとうございました  
今後も御協力の程お願い申し上げます。

## ■ その後の継続的活動

### ◇喫煙そのものを止めて頂く活動

#### 1、健保支援：禁煙外来補助・禁煙補助薬購入補助(※2015年度1月～3月実施)

【2015年結果】

申込者数：137名 禁煙達成者数：35名(外来：26名、補助薬：9名) 【面談支援・講話】

#### 2、産業保健スタッフによる面談・啓発活動

##### 2-1、産業保健スタッフによる面談

##### 2-2、安全衛生委員会での講話(参考資料P1～2)

##### 2-3、デジタルサイネージ活用による啓発活動

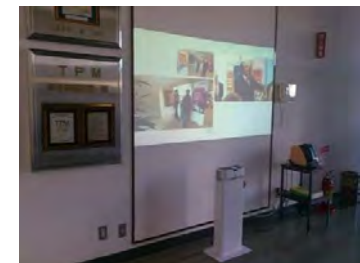


【サイネージ展開状況】

### ◇喫煙を継続している方の喫煙マナー向上活動

#### 1、各社・各事業所総務機能による、マナー向上のための啓発活動

※当初、各社・各地区で隠れタバコ、昼休み等の近隣での喫煙マナーへの指摘等あったが、沈静化している



↓  
**残課題あり**

## ■ モラル・マナー面での再周知について【お願い】

◇昼休み・休憩時間、外出しての  
近隣商業施設・公園等での喫煙マナーについて

【順守事項：具体例】

### 1、「譲り合い」

喫煙場所が既に満杯の場合は、喫煙を控える等、喫煙者は状況に応じ  
お互い譲り合う配慮をお願いします。

### 2、「周辺を確認」

喫煙場所周辺特に、店舗入り口付近では喫煙スペースを守り且つ、往来される方  
(特に小さな子供・妊婦さん)へ排煙が掛からない等の配慮をお願いします。

### 3、「長時間・複数人数は“×”」

長時間・複数人数での喫煙は、大量喫煙における、受動喫煙要因(三次喫煙)  
及び、業務上情報漏えいリスク発生が懸念されるため、原則止めるようお願いします。

### 4、「喫煙場所は何時もキレイに」喫煙場所では吸殻処理等、後片付けの徹底をお願いします。

◇喫煙される方の行動は、周囲の方から常に観られています  
近隣住民の皆様からクレームを頂くことのないよう節度ある行動をお願い致します



## 参考資料

# 安全衛生委員会 ポジティブキャンペーンの実施① **RICOH** imagine. change.

◇禁煙した方の「やめて良かった」という感想を、各社・各拠点毎安全衛生委員会にてご紹介しています。

【例】



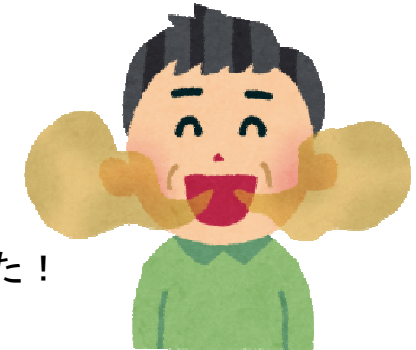
20代 男性  
15本/日吸ってました



事業所全面禁煙の施行がきっかけで、禁煙外来を利用し、禁煙成功しました！

＜やめてよかったこと、感想＞

口臭が気にならなくなった



30代 男性  
20本/日吸ってました



2015年1月から全社敷地内禁煙になるため

＜やめてよかったこと、感想＞

まだ、禁煙1ヶ月でデメリットのウェイトが大きく感じます。これから、デメリットが減って、メリットを感じていけるのかなと思いつつ続けています。

★メリット

睡眠の質が良くなった・家族が喜んだ・月約13000円の節約ができる

★デメリット

眠い、イライラ、やる気の低下等あり・口寂しさに食べる量も増え、太る予感。



# 安全衛生委員会 ポジティブキャンペーンの実施② **RICOH** imagine. change.



## 40代 男性 10～20本/日吸ってました

家族に「犬を飼いたい」と強く迫られ、お金がかかると反対したら、  
「パパがたばこをやめればお金は大丈夫、パパの健康にもいい！」と家族会議で敗北  
＜やめてよかったこと、感想＞

毎月お金が浮いて、犬が飼えます！（笑）

あと、夜中にたばこが切れてパニックになったり、

外出先などで吸うところを求めて無駄に彷徨ったり、実はいろいろと縛られて  
生きていた事を実感。そういう縛りから解放されるのは気楽で気持ちいいです。



## 50代 男性 20～25本/日吸ってました

病気で入院、再発防止のため卒煙

＜やめてよかったこと、感想＞

タバコ代がかからなくなる。1日1箱で約12,000円の節約。

洋服がタバコくさくさなくなっって、奥様や恋人に喜ばれる。

タバコの脂がつかないので、歯がきれいになる。

全面禁煙のスターボックスにいけるようになる。

なんととっても、健康にいい！！⇒朝の目覚めもすっきり、朝ごはんがおいしい。

